

開講科目名 / Course	行動療法と発達心理	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	前期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	吉村 匠平	
担当教員名 / Instructor	関根 剛、吉村 匠平	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	<p>発達を、進化、環境、遺伝という視点から複合的に理解する枠組みに沿って、言語、運動機能、アタッチメント行動、発達障害について学び、発達という概念を相対化する態度を養う（吉村）。</p> <p>行動療法および認知心理学的な視点から、行動変化の理論を理解し、実際に、自分自身の行動の変容プログラムを作成することで、患者の生活習慣の変容方法を助言できる知識を持つ（関根）。</p>	
到達目標	<p>1. 人間という存在を、環境、進化、遺伝など、複数の視点から、説明することができる（吉村）。</p> <p>2. 認知行動療法、多理論統合モデルについて理解し説明できる。また、多理論統合モデルによる自己の行動改善プログラムを作成する（関根）。</p>	
DPとの対応	2.看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、3.心豊かな人間性と倫理観、5.国際性を持ち、多くの職種や人々と連携・協働する力	
授業計画	<p>01. 言語発達の理解（吉村）</p> <p>02. 運動発達の理解（吉村）</p> <p>03. アタッチメント行動の発達（吉村）</p> <p>04. 発達障害を状況論的に理解する（吉村）</p> <p>05. 広汎性発達障害の理解（吉村）</p> <p>06. 行動療法の基礎：失敗するプログラムとは（関根）</p> <p>07. 多理論統合モデル1：認知的プロセス、行動的プロセス（関根）</p> <p>08. 多理論統合モデル2：ステージごとのアプローチ（関根）</p> <p>09. 変容のプログラム1：生活習慣を変えるプログラム（関根）</p> <p>10. 変容のプログラム2：プログラムの検討（関根）</p>	
その他の授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回、授業開始時に自分でくじを引き、座席を決める。（吉村） ・ 隣に座った人と協同して学習課題に取り組み、話し合う活動を行う。（吉村） ・ 挙手による発言行動が強化されるよう、学習環境を調整する。（吉村） ・ 毎時、講義通信を発行する。（吉村） ・ 毎時、時間外課題を課す。（吉村） ・ 毎回の知識確認テスト・ミニレポートを行う。（関根） ・ 毎回、前回の質問などに回答する時間を設ける。（関根） ・ 自己の行動変容プログラムを作成して実際的な理解を深める（関根） 	
時間外学修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎時、講義終了後にショートレポートを課す。（吉村） ・ 毎時、講義内容に関連する動画を指定する。講義冒頭に理解度に関する小テストを行う。（吉村） ・ 講義内容に基づいた行動改善プログラム案を提出する。（関根） ・ 自己の行動改善プログラムの実践とレポート提出。（関根） 	
評価方法と評価割合	<p>期末の試験は実施しない。事前課題の小テスト（3点/回）、講義内容の要約課題（4点/回）、授業を受けてのコメント（2点/回）、授業での発表、時間外学習課題の得点を5回分集計して評価する。なお、講義を欠席したものは、その回に課された全ての課題を提出することができない。（吉村）</p> <p>毎回の知識確認、ミニレポート6割、プログラム作成と実行レポート4割。（関根）</p>	
テキスト	<p>毎時、ハンドアウトを配布する。ハンドアウトに加えて、講義通信、自分が作成したレポート、webに投稿された他学生のレポートを参照することで、講義内容の理解が深まるように自分なりの講義ポートフォリオを作成する。（吉村）</p> <p>毎時、ハンドアウトを配布する。授業内で参考書を呈示する。（関根）</p>	
参考書	進化心理学入門（新曜社）	
履修する上で必要な要件		
その他	講義を受けていて、おかしい！違う！と思ったら、遠慮なく議論を吹っかけてください。お待ちしております。「進化」という視点は、人間の行動を疑い、理解する強力なツールです。興味を持たれた人は、進化心理学の書物にぜひ目を通してください。鱗が五枚くらい落ちますよ。（吉村）	
教員の実務経験	有・無	有
	内容	吉村匠平：保育園、幼稚園、小学校、中学校での教育相談 関根剛：臨床心理士
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有

	内容	小学校教諭、臨床心理士
実務経験をいかした教育内容	学校で頻繁に観察される事象を具体例あるいは課題として提示する。	